

土砂動態調査総括表

河川名： **ルシャ川**

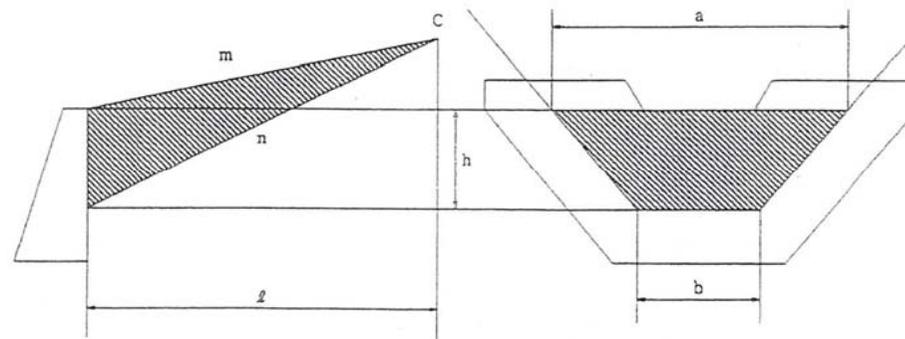
- 注1) 土砂動態は流域全域を整理した。
- 注2) 区間は、河川工作物、沢の分岐、魚止滝で区切っている。
 区間は、別添の図面（河川工作物及び遡上環境の状況）内の工作物No. データ区分点を参照する。
- 注3) 山腹内滞留土砂は、崩壊下部の崩落土砂の溜り等の土量である。

区間	区間長 (m)	山腹土砂生産源						溪流内滞留土砂(m ³)	
		山腹崩壊地			特殊荒廃地		復旧崩壊地		
		個数	面積(ha)	山腹内滞留土砂量(m ³ /d)	個数	面積(ha)	個数		面積(ha)
河口～1(さけ・ます)	127								
1(さけ・ます)～2(北海道)	244	1	0.05						
2(北海道)～3(北海道)	51								
3(北海道)～4(北海道)	52								
4(北海道)～A	300	19	4.65			30	10.19	24,800	
計	774	20	4.70			30	10.19	24,800	

推定貯砂量計算式

$$V = \frac{l}{6} \cdot \frac{h^2}{n-m} \cdot (a+b+c) \cdot \alpha$$

- V : 推定貯砂量
 h : 治山ダム有効高
 a : 放水路部の有効幅
 b : 溪床部有効幅
 c : 堆砂区域末端の溪床幅
 α : 割増係数 (ポケットの状態では1.0~1.5)
 l : 堆砂区域長
 n : 現溪床勾配
 m : 計画勾配



ルシャ川														
因子		北海道												計
		No2	No3	No4										
放水路部有効幅 (m)	a	143	148	151										
溪床部有効幅 (m)	b	141	146	149										
堆砂区域末端の溪床幅 (m)	c	146	149	149										
ダム設置前の溪床勾配	n	0.029	0.029	0.021										
堆砂勾配	m	0.02	0.006	0.006										
ダム有効高 (m)	h	1.0	1.0	1.0										
割増係数	α	1	1	1										
貯砂量 (m ³)	V	7,963	3,210	4,989										16,162